

O's NEWS



理事長・院長就任のご挨拶

理事長・院長 大西 宏之

2023年4月、医療法人英明会大西脳神経外科病院、理事長・院長に就任致しましたのでご挨拶申し上げます。当院は2000年12月に開院し、2020年12月に20周年を迎えることとなりましたが、新しい気持ちで次の時代へ進みたいという思いがありこの度、世代交代することになりました。

当院は全く脳神経外科の専門病院がない中誕生し、脳卒中を中心とした脳神経外科急性期治療を展開し、そして常に最先端の医療技術を導入しながらこの20年で大きく成長することができました。最初の10年では、この東播磨地域の脳卒中医療の基礎を築き、脳疾患救急体制を確立しました。脳卒中患者の情報を救急隊と共有する脳卒中プレホスピタルレコードを全国的にも先駆けて導入し、また今では当たり前になっていますが、脳外科専用のMRIを複数台導入し、24時間365日、MRIが常時撮影できるようにしました。それによって脳卒中の診断能力が格段に向上し、治療成績が向上しています。そして次の10年では、常に最新技術を導入し、全国的に見ても先駆けて最先端医療を展開する脳神経外科専門病院として認知されるようになりました。このようにこの20年で大きく飛躍することができましたが、一方で最近のコロナ禍によって医療の脆弱性も目の当たりになることになり不測の事態にも揺るがない盤石な守りの経営地盤が必要であることを痛感致しました。そこで今後は、これまでの当院の方針を引き継ぎ

ながら「医療安全、危機管理対策」、そして「スタッフの人間力の育成、自立したチームづくり」といったものにも改めて注力していきたいと思えます。



また法人全体の取り組みとしては、脳卒中は死因の第4位、寝たきり原因の第1位という背景から、2018年12月に脳卒中・循環器病対策基本法が策定され、急性期医療だけでなく、慢性期、維持期など包括的な医療が求められる時代へと徐々に移り変わりつつあります。これまでは急性期医療の確立に特化して参りましたが、今後は回復期医療、在宅期医療にも注力していかなければなりません。そして最終的な目標として、脳卒中の予防から急性期治療、回復期、在宅医療までを当法人が包括的に管理し、この東播磨地域住民の皆様の健康管理、寝たきりにならないための健康増進を、脳神経疾患を通じて還元していく、そして皆様にさらに安心してご利用いただける病院となることを目指していきたいと思えます。

今後も様々な環境の変化が訪れることと思いますが、どのような変化が起きようとも、職員一同が一丸となり、地域の皆様の健康、安心をお届けできるように尽力して参りますので今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



受診を迷ったりしていませんか？

手術室・救急外来・中央材料室
看護師 谷井 諒

私は看護師2年目で、手術室・救急外来で勤務しています。まだまだ未熟ですが患者さんの不安を少しでも取り除けるよう、学習し患者さんに寄り添えるよう努めています。

さっそくですが、手のひらを上に向け肩の高さまで水平に挙げてみて下さい。目を閉じて10秒後、手のひらが内側を向いて下がっていたりしませんか？

もしかしたら手に力が入りにくくなっているのかもしれない。

救急外来では「数日前から手足が動かしくなくなった、動かなくなった。」と来られる患者さんが多くいらっしゃいます。「症状が出た時に来

院していれば違う治療の選択肢があったかもしれないのに」と、私自身もどかしい気持ちになります。

手足の動き以外にも脳梗塞にはいろいろな症状があります。

ご自身またはご家族が大丈夫かな？普段と少し様子が違うかも？と思い受診を迷っているのであれば一度、当院へお問い合わせください。

当院は、救急医療は医療の原点と考え、365日24時間対応するように努めています。



地域医療連携室 = 相談の窓口です

「地域医療連携室」はどんなことをする部署ですか？と質問されることがあります。

「地域」とは、病院のまわりにある医療機関、地域包括支援センター、介護事業所、行政機関、治療が必要な人、介護が必要な人、健康に不安を感じている人だけでなくすべての人々を指します。その団体、個人がそれぞれの特性や力を出し合い、影響しあい「地域」を作っています。

今、日本は少子超高齢社会です。当院の入院患者さんでも、90歳以上の方や、支援する人との関わりが希薄でぎりぎりのところで生活されていた方が増えています。「地域包括ケアシステム」という言葉をよく耳にするようになりましたが、行政の力に頼るだけでなく、「地域」で「地域」の人々を支える仕組みを自らが作っていかねばなりません。当院も、脳神経外科領域

地域医療連携室
看護師・社会福祉士 塩川 泰子

の治療のみならず、健康増進や疾病の予防にも力を入れていきたいと考えています。

「地域医療連携室」は「地域」との窓口です。私たち「地域医療連携室」には看護師2名と社会福祉士2名(介護支援専門員資格保有者各1名)が所属し、転院や自宅退院への調整のほか、院内・院外からの相談の窓口業務を行っています。私たちがすべての問題解決するのではなく、専門とする部署や機関につなげることで問題を「地域」で考えていくことができます。

昨年9月に一次脳卒中センターコア施設に認定され、脳卒中相談窓口を開設しています。困りごとを抱えた方が「地域」にはたくさんいらっしゃいます。お困りごと、どこに相談してよいかわからないことなどがあれば、遠慮なくご相談下さい。

二十四節気と七十二候のお話



5月(皐月)

新緑が5月の空に光り、薫風香るさわやかな季節です。



4/30~5/5(第十八候) 牡丹華 / ぼたんはなさく

華やかな牡丹の花、長谷寺の牡丹は有名ですね。5/5の端午の節句が近づき、たくさんの鯉のぼりを川へ泳がせる「鯉のぼり祭り」が各地で行われます。風を受けて泳ぐ姿に笑顔♪



5/6~10(第十九候) 鼈始鳴 / かわずはじめてなく

5月8日は「ゴーヤーの日」。夏のグリーンカーテンに大活躍するゴーヤーは今が植え時!プランターへ鉢底石、用土を入れ、苗を植えつけ、広がるネットを用意、ぐんぐん育ち、暑い夏には涼しげなグリーンカーテンに成長。



気持ちの良い季節。お出かけしませう。

5/11~15(第二十候) 蚯蚓出 / みみずいずる

みみずが地上に這い出す季節。おいしい「空豆」。北アフリカ、西アジアの新石器時代に栽培化され、エジプトロイア遺跡からも化石化したそら豆が発見され、「世界最古の農作物のひとつ」とされています。あの「豆板醤」も空豆が原料ですね。



5/16~20(第二十一候) 竹笋生 / たけのこしょうず

新緑の美しいこの頃。「目に青葉 山時鳥 初鯉」は江戸の俳人山口素堂の一句ですね。ホトギスは、東南アジアからの渡り鳥で「キョキョキョキョ」と響く声で鳴きます。「初物」好きな江戸の人々は我先にと「初ガツオ」を食べました。



5/21~25(第二十二候) 蚕起食桑 / かいこおきてくわをはむ

蚕の餌になる桑の葉、かつては日本のいたるところに桑畑がありました。蚕の食欲は旺盛で、昼も夜も音をたてて食べ続けます。優雅なあげは蝶。幼虫はミカン科の葉をモリモリ。幼虫は「ユズ坊」と呼ばれます。



田植えもそろそろ終わる。梅雨の日も少しづつ。みられる頃です。

5/26~31(第二十三候) 紅花栄 / べにばなさかう

紅色の染料や口紅の原料になる紅花が咲きます。新緑の中で枝いっぱいに咲く「空木」の花「卯の花」。「♪うのはなのにおうかきねに〜♪」と唱われ初夏の香りです。「おから」のことも「卯の花」とも。「空木」の語源は枝の中が空洞だから。



「苺」その2

バラ科 多年草

果物売り場に並び、赤い苺、最近ではかわいらしい名前品種が並びます。「とちおとめ」「あすかるびー」「紅ほっぺ」「もういっこ」「とっておき」…♡味は糖度と酸度のバランスで決定されます。「塩を与える、寒くする…」など、苺に「ストレス」をかけることで「甘さ」を引き出すのだそう。全国で新たな品種が続々と開発され「イチゴ戦国時代」といわれます。各都道府県が独自の開発を進め、品種は300種類以上。いちご王国栃木県の新品種「とちあいか」埼玉県新品種「べにたま」「あまりん」、滋賀県「みおしずく」、神奈川県「かなこまち」などなど^_^ 苺好きには楽しみです。



外来担当医表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高橋(顔)	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	高橋(血)	大西(宏)(血)	久我	茶谷	河田
2診 【予約制】	午前	吉村	砂田	角田	富士井	担当医(血)
	午後	吉村	砂田	角田	矢野	脊椎・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診 【予約制】	午前	脳神経内科 小坂田	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部
	午後	脳神経内科小坂田(FUS) 脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	てんかん 第4週 田村 脳神経内科 第1・3週 森原	脳神経内科 第1・3週 阿部

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

※毎週金曜日13:00～ 7診 麻酔科 鈴木

(2023.5)

※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 6診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.44

田中整形外科

院長:田中 浩一



【認定資格・所属学会】医学博士、日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定リハビリテーション医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本いたみ財団認定いたみ専門医

【診療科目】整形外科、リハビリテーション科

【住 所】神戸市西区玉津町高津橋394-1

【電 話】078-917-6000

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/	/

受付時間:午前 8:30～12:00 午後 15:30～19:00

休診日:木・土午後、日曜、祝日



田中院長からのメッセージ

当院は慢性痛の診療に力を入れており、認知行動療法に基づいたリハビリ治療も実施しています。慢性痛に悩む方は、ぜひ当院をご利用ください。

No.192

もりのぶクリニック

院長:森信 早穂子



【認定資格・所属学会】日本内科学会総合内科専門医、日本リウマチ学会専門医

【診療科目】内科、リウマチ科

【住 所】神戸市西区大沢1-14-47

【電 話】078-969-1910

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/	/

受付時間:午前8:30～11:30 午後15:30～18:30

休診日:木・土午後、日曜、祝日



森信院長からのメッセージ

リウマチ膠原病はじめ、様々なご病気の方の診療経験を活かし、患者様やご家族を笑顔にできるよう努力致します。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行・編集責任者:理事長・院長 大西 宏之



ホームページ